



(医) 録三会 美濃加茂市 太田町 2825
太田病院 TEL 0574-26-1251
クリニック TEL 0574-26-2220
中部台ケアセンター TEL 0574-23-1155
更紗 TEL 0574-23-1011
デイサービス 和 TEL 0574-24-0753
つるかめ訪問看護 TEL 0574-27-6535
居宅介護支援事業所 TEL 0574-23-0600
中部長寿支援センター TEL 0574-49-8591

感染症法についてご存知ですか？

(新型コロナウイルス感染症は現在2類相当！)

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけについて、厚生労働省は原則としてオミクロン株とは大きく病原性が異なる変異株が出現するなどの特段の事情が生じない限り、令和5年5月8日から、「5類感染症」に位置づける方針を示しました。

今後、議論を重ねていき、措置やスケジュールについて最終決定していくものと思われます。



参考：厚生労働省ホームページより

★そもそも5類感染症とは？ 感染症法って？

現在、日本では「感染症法（正式名称：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）」と呼ばれる法律によって、感染症ごとに感染力や感染した危険さなどで、危険性が高い順に1類から5類に分類しています。

	感染症名	実施できる主な措置
1類	エボラ出血熱、ラッサ熱、ペストなど	就業制限、入院の勧告・措置、汚染された場所の消毒・物件の廃棄等、建物の立入制限や封鎖・交通制限
2類	結核、急性灰白髄炎、ジフテリアなど	就業制限、入院の勧告・措置、汚染された場所の消毒・物件の廃棄等
3類	腸チフス、細菌性赤痢、コレラなど	就業制限、汚染された場所の消毒・物件の廃棄等
4類	サル痘、黄熱、狂犬病、デング熱など	汚染された場所の消毒・物件の廃棄等
5類	梅毒、風疹、破傷風など	患者情報等の定点把握

現在、新型コロナウイルス感染症は、5つの類型に入らない「新型インフルエンザ等感染症法」に位置付けられ、措置や考え方から「2類相当」とされています。

政府の方針が決まり次第、当院も対策をとっていきます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願ひします。

佐々木智浩先生の関節リウマチのお話

～関節リウマチの今と昔！～

関節リウマチの診療は、近年劇的な変貌を遂げています。原因が分からないため不治の病と諦められていた時代から、現在は診断から目標達成に向けた治療戦略が広く浸透し、患者個々の病状に合わせたオーダーメイド治療が進められるようになっていきます。

★どんな病気？

関節リウマチは全身の関節が腫れて痛み、徐々に骨や軟骨が破壊されて関節が変形していく病気です。

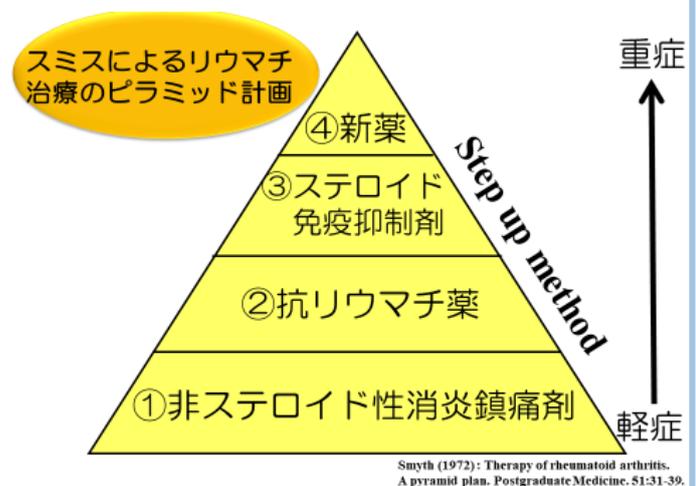
関節の裏地となる「滑膜」の炎症を病態の主座とする自己免疫性疾患の一つで、簡単に言うと・・・体に異物（ウイルス、細菌など）が入った時人間は免疫力が働きその異物を退治する抗体という武器を作りますが、異物が入ってきていないのに抗体を作ってしまう体（免疫過剰の状態）であるとどうなるでしょう。過剰な抗体を消費するためにそれが自己抗体として、炎症性サイトカインの助けを借りながら自身の関節を攻撃してしまいます。その結果として関節は腫れて痛み、徐々に関節が壊れて変形してしまうわけです。

★原因は？

発症の原因は分かっていませんが、様々な遺伝的素因と環境因子を基盤として自己免疫異常がおこり、自己抗体や炎症性サイトカインが関節の中でたくさん産生されることで関節の炎症につながると言われています。

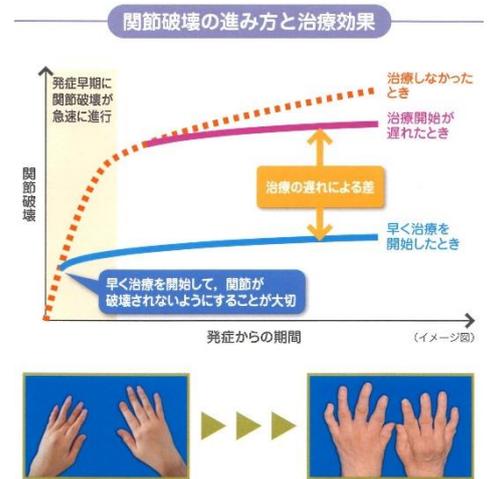
★治療は？

不治の病と言われていた時代はピラミッド治療戦略が主流で、痛み止めによる疼痛コントロール、次に免疫調整薬、免疫抑制薬、ステロイド、実験的治療を順次後追いで行っていくという薬物治療が行われてきました。



しかし様々な研究が進み、関節破壊（一旦起こると回復は困難）は症状が出始めて2～3年の間に始まっていることが分かり、この対応では関節破壊による日常生活動作の低下を改善させることはできないことが分かってきました。

現在は関節破壊を抑える効果のある抗リウマチ薬を早期から使用していく治療法が主流となっています。



1) 免疫調整薬、免疫抑制薬

中でもメトトレキサートは、標準的治療のアンカードラッグとして第1選択薬に位置づけられています。

2) 生物学的製剤（抗サイトカイン療法）

関節リウマチ治療に革新的進歩をもたらした製剤。関節で炎症が起こる時に発生する炎症性サイトカインという物質を抑える抗サイトカイン療法。

3) JAK 阻害剤（細胞内分子標的薬）

サイトカインはサイトカイン受容体と結合してその信号を細胞内に伝達してその機能を発揮します。炎症性サイトカインの信号伝達分子を標的とする薬剤。

抗リウマチ薬を使って効果が不十分な時は、関節の痛みや腫れの少ない「寛解」へ導く効果が高く、強力に関節破壊を抑える効果が報告されている抗サイトカイン療法や細胞内分子標的療法を遅滞なく使用することがすすめられています。

★目指すは「寛解」!

東京女子医大の調査では、リウマチ患者さんで「寛解」の人の割合は2000年にはわずか8%にすぎませんでしたが、2012年には初めて50%を超え、現在は60%弱になっています。このように最新の関節リウマチ治療は、早期に診断し、早期に薬物療法を開始することにより、痛みを抑える「ケアの治療」から、病気の進行を抑えて関節が壊れないようにする「キュアの治療」へとシフトしているのです。

残念ながら現時点で関節リウマチは完治が難しいとされている病気です。しかし関節リウマチ治療は革新的進歩をとげており、夢を持てば完治につながる可能性はあると思います。現在も原因究明、いくつもの薬剤の開発がされており、早期診断、早期治療を開始すれば完治も可能との考えも出ています。リウマチの完治は現在は夢でも、いずれ必ず実現すると信じています。

現在関節の痛み、腫れでお困りの方、また関節リウマチの治療中で薬物療法の効果が十分でない方は、ぜひリウマチ専門医を受診して頂くか、かかりつけの先生に相談してみたいかがでしょう。

～花粉症の予防対策～

★外出時の花粉症対策

晴れていて風の強い日、雨天後の晴れた日、乾燥した日などは花粉が飛散しやすいため、テレビやインターネットで気象情報や花粉情報を入手して、花粉が多く飛ぶ日はできるだけ外出を控えましょう。また、帽子やマスク、眼鏡をして、外出時のコートや上着には、花粉が付きにくい素材を選びましょう。

★家の中での花粉症対策

花粉の飛散が多いときはきちんとドアや窓を閉めて、花粉の侵入を防ぐ事が大切です。室内の掃除はこまめに行いましょう。きれいな室内はハウスダスト対策にもなります。

また、早寝早起き、バランスのとれた食事をする、適度な運動をして体調管理にも気を付けましょう。

☆太田メディカルクリニック休診のお知らせ☆

近藤 初 医師 3月16日(木) 午前休診 (代診：福田徹医師)

井藤 孝 医師 3月15日(水) 休診 (午前代診：佐々木裕茂医師)

3月17日(金) 休診 (午後代診：佐々木裕茂医師)

3月18日(土) 休診 (代診：柳瀬恒明医師)

尾下 英史 医師 3月20日(月) 休診

3月23日(木)～3月28日(火)まで休診 代診：整形外科医師

※休診は変更する場合がありますので、受付窓口近くにある掲示板でご確認ください。

・・・ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します・・・

★太田メディカルクリニック

休日急患診療所当番日のご案内★

*4月23日(日) *5月28日(日)

受付時間 9:00～16:30

※急患の方は、太田病院救急外来(0574-26-1251)へご連絡ください。

あとかき

日に日に暖かさが増し、少しずつ春の訪れを感じますが、朝晩はまだまだ冷え込みます。

体調管理や寒さ対策をしっかりと行いましょう。

今回は令和5年5月8日(月)に発行予定です。 経営企画部

